

---

(仮称) 新ごみ処理施設  
整備・運営事業  
落札者決定基準

---

令和元年(2019年)5月

小平・村山・大和衛生組合

(仮称) 新ごみ処理施設整備・運営事業 落札者決定基準

目 次

---

第1章 落札者決定の手順	1
1 落札者決定基準の位置づけ	1
2 決定の手順	1
第2章 参加資格審査	3
1 参加資格要件の項目	3
第3章 提案審査	4
1 入札提出書類の基礎審査	4
2 提案書の技術審査	4
3 開札及び入札価格の確認	6
4 入札価格審査	6
5 総合評価値の算定方法	6
第4章 提案書の技術審査において審査する視点	7
第5章 提案書に関するヒアリング	9
第6章 審査結果等の公表	10

---

## 第1章 落札者決定の手順

### 1 落札者決定基準の位置づけ

(仮称)新ごみ処理施設整備・運営事業(以下「本事業」という。)を実施する事業者は、ごみ焼却施設的设计・建設、ごみ焼却施設及び不燃・粗大ごみ処理施設の運営に係る専門的な知識やノウハウ(管理運営能力等)を有することが必要となるため、落札者の決定に当たっては、入札価格だけでなく、提案内容によって落札者を決定する総合評価一般競争入札を採用する。

この「(仮称)新ごみ処理施設整備・運営事業 落札者決定基準」(以下「落札者決定基準」という。)は、小平・村山・大和衛生組合(以下「組合」という。)が本事業を実施する事業者の募集及び落札者の決定を行うに当たって、入札に参加しようとする者を対象に交付する入札説明書と一体のものである。

落札者決定基準は、総合評価一般競争入札により落札者を選定するに当たって、要求水準書等の内容を踏まえ、入札参加者から提出された入札提出書類を客観的に評価する基準、方法等を示し、入札参加者の行う提案に具体的な指針を与えるものである。

### 2 決定の手順

本事業における落札者の決定は、総合評価一般競争入札方式に基づき、2頁の図に示す手順で実施する。

#### (1) 参加資格審査

組合は、提出された参加資格審査申請書により、入札説明書に記載の入札参加者の備えるべき参加資格要件(以下「参加資格要件」という。)を満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

#### (2) 提案審査

##### ① 入札提出書類の基礎審査

組合は、入札提出書類に記載された内容が、落札者決定基準に示す基礎審査項目を満たしていることを確認する。基礎審査項目について1項目でも満たさないことが確認された場合は失格とする。

##### ② 提案書の技術審査

小平・村山・大和衛生組合(仮称)新ごみ焼却施設事業者選定審議会(以下「審議会」という。)は、提案書に記載された内容について、落札者決定基準に示す審査基準及び得点化方法に従って評価する。

##### ③ 開札及び入札価格の確認

組合は、入札書に記載された入札価格(消費税及び地方消費税を含まない。)が予定価格(消費税及び地方消費税を含まない。)を超えていないことを確認する。この結果、入札価格が予定価格を超える場合は失格とする。

##### ④ 入札価格審査

審議会は、入札価格について、落札者決定基準に示す得点化方法に従って評価する。

##### ⑤ 総合評価値の算定

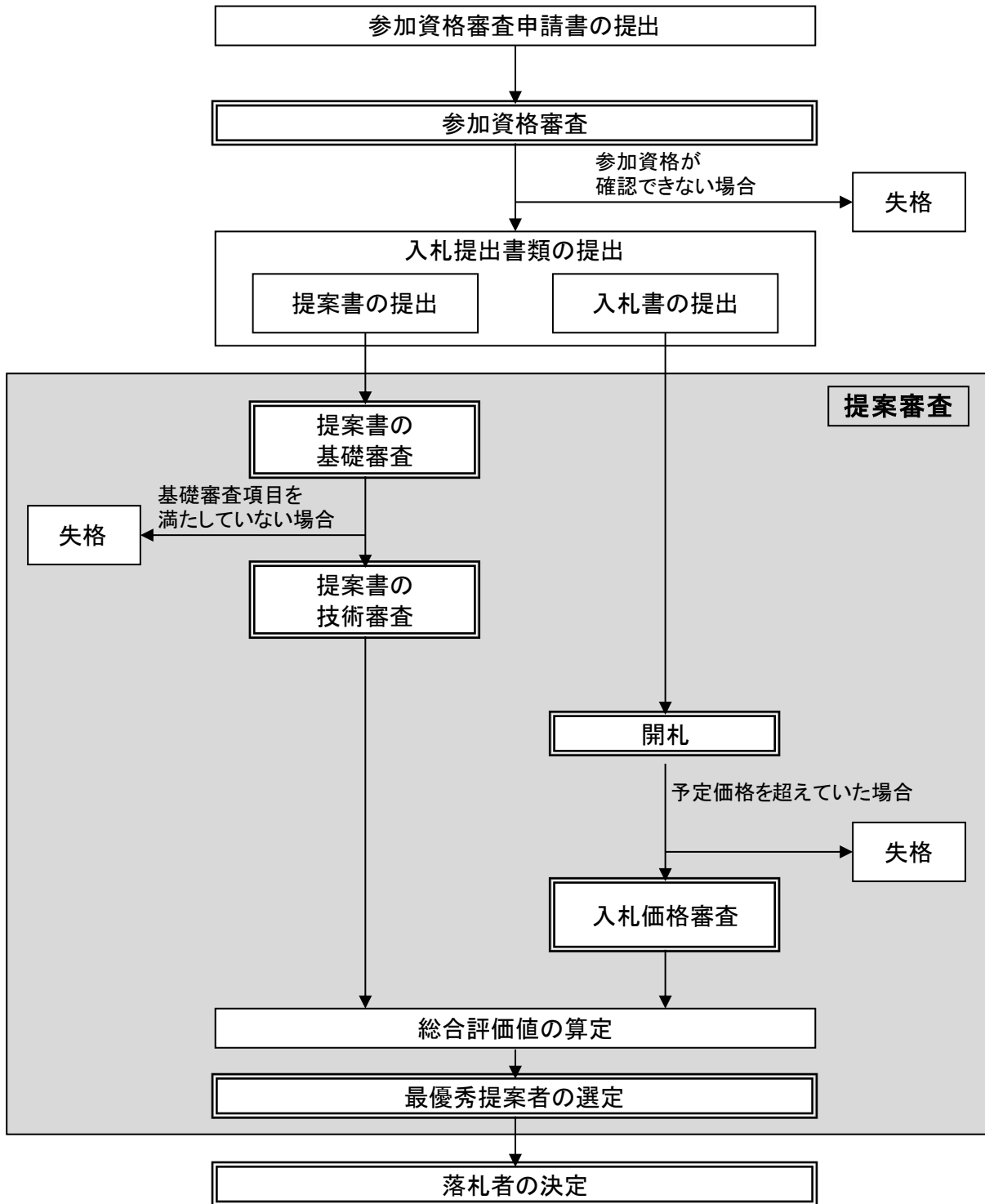
審議会は、提案書の技術審査及び入札価格審査の得点を合計し、総合評価値を算出する。

⑥ 最優秀提案者の選定

審議会は、総合評価値が最も高い提案を行った入札参加者を最優秀提案者として選定する。

⑦ 落札者の決定

組合は、審議会の審査結果を踏まえ、落札者を決定する。ただし、審議会が2以上の最優秀提案者を選定した場合は、当該最優秀提案者によるくじ引きにより落札者を決定する。



※最優秀提案者を選定する審議会の事務は図中網掛け部分

図 1-1 落札者決定の手順

## 第2章 参加資格審査

### 1 参加資格要件の項目

参加表明書と同時に提出される参加資格審査申請書を確認する。参加資格審査基準日は、参加資格審査申請書受付最終日とする。

詳細については、入札説明書「第3章 入札参加者に関する条件等」(p. 7～11)を参照のこと。

## 第3章 提案審査

### 1 入札提出書類の基礎審査

#### (1) 入札提出書類の確認

提出された入札提出書類がすべて揃っていることを確認する。

#### (2) 提案書の基礎審査

提案書に記載された内容が、次に掲げる基礎審査項目を満たしていることを確認する。

- ① 提案書の内容が要求水準書に示す要求水準を満たしていること。
- ② 入札説明書及び様式集に示す提案書の作成に関する条件について違反のないこと。
- ③ 提案書全体について、同一事項に対する2通り以上の提案又は提案事項間の齟齬、矛盾等がないこと。

### 2 提案書の技術審査

#### (1) 提案書における審査項目及び配点

提案書の審査の配点、審査基準及び得点化方法については、組合として目指すべき施設の姿「周辺環境と調和し、地域に親しまれ、市民から信頼されるごみ処理施設」の実現に向けて、組合が本事業に対して民間の創意工夫の導出を期待する度合いにより設定した。したがって、審査項目は、組合が民間に創意工夫を期待している事項であり、配点はその重みを示すものである。

審査項目及び配点については、次の表のとおりである。なお、各審査項目における審査基準等の詳細については、「第4章 提案書の技術審査において審査する点」を参照のこと。

表 3-1 審査項目及び配点

大項目	中項目	小項目	配点		
1 設計・建設業務に関する事項				38点	
	(1) 周辺環境に調和し、市民に親しまれ、地域に貢献できる施設	① 周辺の景観及び歴史的・自然的環境と調和した建物デザイン	4点	12点	
		② 全体配置及び車両・人・見学者の動線計画	4点		
		③ 市民が集い、憩うことができ、環境教育・学習の拠点となる施設	4点		
	(2) 安全・安心な施設及び安全で効率的な工事施工計画	① 安全性・信頼性の高いプラント設備計画	4点	12点	
		② 排ガス、騒音・振動、悪臭等の環境影響を低減するための施設計画	4点		
		③ 段階的な工事施工に係る計画の妥当性、安全確保、環境保全	4点		
	(3) 災害に強く、地域防災に貢献できる施設	① 災害発生時の強靱性、処理継続性を確保できる施設計画	4点	7点	
		② 災害時に地域防災に貢献できる施設計画	3点		
	(4) エネルギーの有効利用、循環型社会へ貢献できる施設	① 省資源・省エネルギーに資する施設計画	4点	7点	
		② 熱エネルギーの有効活用に資する施設計画	3点		
	2 運営維持管理業務に関する事項				18点
		(1) 市民が安全・安心に生活できる信頼される施設運営	① 周辺環境に配慮した安全・安心な施設運営計画	4点	11点
② 長期間の安定稼働を目標とした維持管理計画			4点		
③ 情報管理及び情報公開に配慮した信頼される施設運営計画			3点		
(2) 市民に親しまれ、地域に貢献できる施設運営		① 地域住民との交流、来場者対応及び各種イベント対応・企画	4点	7点	
		② 大規模災害時の一時的な避難者の受入れに係る体制及び対応策	3点		
3 事業計画に関する事項				4点	
	(1) 事業収支計画及びリスクへの対処方法	① 長期事業収支計画の安定性、資金不足等の不測事態への対応	2点	4点	
		② リスクの管理及び対応策	2点		
合計				60点	

(2) 提案書の技術審査に関する得点化方法

- ① 提案を求めている審査項目においては、次の5段階評価による得点化方法により技術得点を付与する。

表 3-2 審査基準及び得点化方法

評価	審査基準	得点化方法
A	当該評価項目において特に優れている	配点×1.0
B	AとCの中間程度	配点×0.75
C	当該評価項目において優れている	配点×0.5
D	CとEの中間程度	配点×0.25
E	当該評価項目において優れているとは認められない	配点×0.0

- ② 各審査項目の評価点については、次の算定式により、各委員が個別に行った評価の平均値とする。なお、平均値を求める際は、小数第3位を四捨五入した値とする。
- ③ ②の結果をもとに、各入札参加者の得点の合計を算出する。

算定式【技術得点算定式】
$\left( \begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{提案書に関する技術得点} \end{array} \right) = \frac{\Sigma(\text{各審査項目の配点} \times \text{審査基準})}{\text{委員人数}(5\text{名})}$

### 3 開札及び入札価格の確認

提出された入札価格が予定価格を超えていないことを確認する。なお、入札価格の確認のための開札は、提案書の技術審査終了後、入札説明書に定めた方法により実施し、入札価格が予定価格を超えていない提案のみ入札価格の得点化を行うこととする。

### 4 入札価格審査

#### (1) 入札価格に関する得点化方法

入札価格について、次の算定式により得点を付与する。なお、得点は、小数第3位を四捨五入した値とする。

算定式【入札価格の得点算定式】
$\left( \begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \end{array} \right) = 40\text{点} \times \left( \frac{\text{最低入札価格}}{\text{入札価格}} \right)$

### 5 総合評価値の算定方法

「2 提案書の技術審査」、「4 入札価格審査」により算出した各入札参加者の得点から、次の算定式により、各入札参加者の総合評価値を算出する。

算定式【総合評価値の算定式】
$\left( \begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{総合評価値} \\ \text{(満点:100点)} \end{array} \right) = \left( \begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{提案書に関する技術得点} \\ \text{(満点:60点)} \end{array} \right) + \left( \begin{array}{l} \text{当該入札参加者の} \\ \text{入札価格に関する得点} \\ \text{(満点:40点)} \end{array} \right)$



#### 第4章 提案書の技術審査において審査する視点

審議会は、各審査項目について、審査基準に基づき審査を行い、その内容に応じて、5段階評価により技術得点を付与する。なお、各項目の審査の視点は次の表のとおりである。

表 4-1 提案書の技術審査において審査する視点

大項目	中項目	小項目	審査の視点	配点	
1 設計・建設業務に関する事項				38点	
	(1) 周辺環境に調和し、市民に親しまれ、地域に貢献できる施設	① 周辺の景観及び歴史的・自然的環境と調和した建物デザイン	・建物デザインにおいて、形状、色彩、建物緑化等により圧迫感を軽減するとともに、歴史的・自然的資源である玉川上水緑道及び野火止用水歴史環境保全地域と調和し、清潔で潤いとゆとりある施設として、具体的かつ有効な計画として提案されているか。	4点	12点
		② 全体配置及び車両・人・見学者の動線計画	・周辺環境と調和し、周辺住民及び玉川上水散策路からの視点に配慮した全体配置(緑化、イベントエリア等を含む)について具体的かつ適切な計画として提案されているか。 ・小平市道第A-1号線・第A-3号線の交通安全に配慮するとともに、新不燃・粗大ごみ処理施設を含めた廃棄物等運搬車両・来場者(見学者等)及び維持管理の動線計画について安全で機能的な計画として提案されているか。	4点	
		③ 市民が集い、憩うことができ、環境教育・学習の拠点となる施設	・来場者(見学者等)に対する新ごみ処理施設の理解を深める工夫及び3R施策・環境問題等の環境啓発機能について、具体的かつ有効な計画として提案されているか。 ・市民との交流の場の創生に関して具体的かつ有効な計画として提案されているか。	4点	
	(2) 安全・安心な施設及び安全で効率的な工事施工計画	① 安全性・信頼性の高いプラント設備計画	・主要プラント設備について最新で信頼性が高く、計画ごみ質及びごみ質・ごみ量の変動に対する対応性並びにプラント全体の効率性及び経済性を踏まえた設備計画が提案がされているか。 ・プラント設備について、点検、補修等の維持管理動線の効率性・安全性を踏まえた設備配置計画及び緊急時に対応した安全の確保、安定稼働が十分に図れるプラントシステムとして具体的かつ有効な提案がされているか。	4点	12点
		② 排ガス、騒音・振動、悪臭等の環境影響を低減するための施設計画	・プラント設備の稼働に伴う環境影響要因を適切に把握し、公害防止基準の順守及び適切な運転管理値を設定したうえで環境影響要因の低減及び周辺環境への影響を極力防止するための方策について具体的かつ有効な提案がされているか。	4点	
		③ 段階的な工事施工に係る計画の妥当性、安全確保、環境保全	・既存4・5号ごみ焼却施設を稼働させながら新施設の建設及びその後の管理棟建設まで効率的で安全、かつ、環境保全に配慮した施工を達成するための施工体制及び施工計画が具体的かつ有効な計画として提案されているか。 ・試運転期間後半からの3市搬入ごみの全量処理に向けて、具体的かつ有効な提案がされているか。	4点	
	(3) 災害に強く、地域防災に貢献できる施設	① 災害発生時の強靱性、処理継続性を確保できる施設計画	・建築物及びプラント設備の耐震性の確保並びに災害発生時の想定される被害状況に応じた災害後の早期稼働について具体的かつ有効な提案がされているか。	4点	7点
		② 災害時に地域防災に貢献できる施設計画	・災害時の一時的な避難者の受入れ、水・温水の供給、災害情報の提供等、地域防災への貢献に資する施設計画について具体的かつ有効な提案がされているか。	3点	
	(4) エネルギーの有効利用、循環型社会へ貢献できる施設	① 省資源・省エネルギーに資する施設計画	・建築物の断熱性能の向上、トップライト等による自然光の利用、自然換気等、建築計画における省資源・省エネルギー対策について具体的かつ有効な提案がされているか。 ・省資源に配慮した材料の使用、高効率機器の採用、太陽光発電等、設備計画における省資源・省エネルギー対策について具体的かつ有効な提案がされているか。 ・計画ごみ搬入量を踏まえた運転計画・補修計画に基づき、効率性、経済性を踏まえた用役収支計画について具体的かつ有効な提案がされているか。	4点	7点
		② 熱エネルギーの有効活用に資する施設計画	・焼却熱を有効に活用し、環境省のエネルギー回収型廃棄物処理施設に係る1/2交付要件以上の熱回収率及び送電端効率の向上が図れる提案がされているか。	3点	
2 運営維持管理業務に関する事項				18点	
	(1) 市民が安全・安心に生活できる信頼される施設運営	① 周辺環境に配慮した安全・安心な施設運営計画	・新ごみ処理施設(新ごみ焼却施設及び新不燃・粗大ごみ処理施設の総称、以下同じ)に関し、小平市道第A-1号線の交通安全に配慮した搬出入管理計画(非常時の場外待機車両発生回避、補修工事車両等の誘導等を含む)、プラント設備の安定稼働、環境影響要因(排出ガス、悪臭、騒音・振動、粉じん等)の測定計画及び公害防止基準を順守するための運転管理値の管理方策について、運転管理体制を含めて具体的かつ有効な施設運営計画として提案がされているか。	4点	11点
		② 長期間の安定稼働を目標とした維持管理計画	・新ごみ処理施設について、30年間にわたる施設の使用を前提とした維持管理計画及び運営維持管理業務終了後5年間にわたり、大きな基幹改造・修繕が必要とならない機器等の更新計画について具体的かつ適切な提案がされているか。	4点	
		③ 情報管理及び情報公開に配慮した信頼される施設運営計画	・新ごみ処理施設について、情報管理(運転、点検、補修、環境管理、作業環境管理、有効利用等)及び防災管理(二次災害の防止、事故報告等)の方策並びに情報管理内容及び防災管理内容等の情報公開に関して具体的かつ適切な提案がされているか。	3点	
	(2) 市民に親しまれ、地域に貢献できる施設運営	① 地域住民との交流、来場者対応及び各種イベント対応・企画	・組合のごみ処理事業に関する連絡協議会、その他地域住民との交流の方策及び交流の場を通じて寄せられた運営に係る意見を反映する方策について適切な提案がされているか。 ・見学者を含む来場者の受付、説明等について具体的かつ適切な提案がされているか。 ・えんとつフェスティバル、こもれびの足湯における小平グリーンロード灯りまつり等のイベントへの対応策及び組合施設を活用した新たなイベントの企画について具体的提案がされているか。	4点	7点
		② 大規模災害時の一時的な避難者の受入れに係る体制及び対応策	・新ごみ処理施設について、大規模災害発生時に施設の安全性を確保しながら、一時的な避難者の受入れに関する体制及び対応策について具体的かつ有効な提案がされているか。	3点	
3 事業計画に関する事項				4点	
	(1) 事業収支計画及びリスクへの対処方法	① 長期事業収支計画の安定性、資金不足等の不測事態への対応	・事業期間にわたり、安定した事業収支計画として、また、資本金やSPCへの資金面での支援について、具体的かつ適切な提案がされているか。	2点	4点
		② リスクの管理及び対応策	・事業期間にわたり、リスク発生時の影響を最小化するための管理方針及び体制並びにリスクへの対応策(リスク内容の把握及び負担方法等)について具体的かつ適切な提案がされているか。 ・設計・建設段階及び運営・維持管理段階におけるリスク管理のためのセルフモニタリングについて具体的かつ適切な提案がされているか。	2点	

## 第5章 提案書に関するヒアリング

審議会は、提案書の審査及び評価を行うにあたり、入札参加者に対してヒアリングを行う。  
ヒアリングの開催要領の詳細は、別途通知する。

## 第6章 審査結果等の公表

審査結果等については、公表を行うとともに、入札参加者においては個別に通知する。